

## 「ビジョンを語る会」主な意見 小野商工会議所

実施日： 10月21日(水) 人数：13人

### (北播磨は宝を持っている)

小野のそろばん、三木の刃物など、北播磨には他産地からみればよだれが出るような宝(商材)がたくさんあるが、産地はそれに気づいていない。モノは作れるけれど販売ができない。幕張メッセでは見せ方ひとつで変わるという経験をした。インターネットの普及で販売方法も変わった。それをうまく使う販売アドバイスができるようなバックアップがあれば十分まだまだ伸びていける。

### (シャッター商店街)

小野商店街は 800 メートルという県下で珍しい規模の長い商店街だったが、もはやシャッター商店街となっている。地元を大切にしたいと考えている我々には非常に残念で、地元商店街や地元企業の元気が出るような施策を打ち出してほしい。

### (外国人の雇用)

家業は園芸用刃物の製造。社員が高齢化し新しい人を入れなければならないが、職人は育てるのに5年くらいかかる。外国人は3年から5年で国に帰らなければならないと聞いた。5年かけてものづくりができるまでに成長した頃に帰国してしまうと、職人として活躍する時がない。雇用政策を検討してもらいたい。

### (働き先に地元を選んでもらえるように)

この辺りの市町村に住む人は神戸市や明石市に職場を求める傾向がある。若い世代はプライベート中心に考えているようなので、プライベートの充実するまちづくり・コミュニティづくりによって、地元で働けて、自分で時間に融通がつけられるような生活環境を整えることで若者を引き留められると思う。

### (人手不足、人材難が課題)

地場産業の刃物を家業としているが、外注先の高齢化が進んでいる。内製化したが、事業継承に問題がある。人手不足、人材難が一番課題だと思う。

### (北播磨に住む外国人の願い)

小野市では今 930 人弱の外国人が住んでいる。私が所属している小野市国際交流協会では、数年で帰国する技能実習生に30年後について聞いたところ、交通の便を良くし楽しい娯楽施設をつくらしてほしいということだった。長く住んでいる定住者に聞くと、今の北播磨の平和、安全やリラックスできる雰囲気はなくしてほしい、大事に残すべきだということだった。

### (「そろばん工房館」をつくり観光資源にしたい)

そろばん生産の拠点を1か所に集約し、小学校の社会科見学や製作体験を行う「そろばん工房館」を整備し、観光の資源の一部にしたい。そろばんで小野市に誘客し、買い物、体験をしてもらってお金を落としてもらい、近隣も回ってもらおう。そうした流れをつくりたい。

### (新しい人の流れ)

旅館を3代に渡って営んでいるが、ここ50年でお客の種類が変わってきた。道路網などの交通インフラが整備されるに従って、泊まらなくても仕事ができるようになり土木作業員やトラック運転手の利用が減った。ここ10年はスポーツ合宿で来る子どもの宿泊が増えた。仕事以外のレジャーでの人の流れや子ども達の流れをつかんで新しい何かを考えていきたい。

### **(都会に住まなくても仕事ができる)**

今までは週 1 回本店に行って会議をしていたが、コロナ禍で Web 会議になり、勤務地が離れていても仕事ができるというのを肌で感じている。最近、市内の若い方で自宅でもできる仕事で会社を立ち上げる人が増えてきた。都会に住まなくても小野市に住んだまま仕事ができる。そういった新しいことを地域に根付かせていきたい。

### **(所有者不明土地への対応)**

所有者不明土地、名義が何年も前の最初から変わっていない土地、売買の際に所有者が何十人もいて困っているような土地がある。価値がある田はすぐ相続するが、価値のない田は相続したがいという現状である。もっと簡単に田んぼや土地を放棄できる仕組みがあればいいのと思う。

### **(子ども達が動ける交通基盤は引き続き必要)**

子どもたちが買い物等で都市部に出るためには、やはり鉄道などのインフラは必要であり、残す必要がある。働き先を考える人からも、交通事情が悪いから小野市は住みづらいという声がある。

### **(「おの恋村」をつくり魅力発信の拠点にしたい)**

食の提供や地場産品の生産の拠点、地域住民の憩いの場となる「おの恋村」をつくりたい。若い人も呼び込むためには、他の地域から多様なことができる人が入り、力を合わせて運営していけるような組織づくりが重要である。

### **(山田錦と金物、掛け合わせて魅力を増す)**

新潟県燕三条市のレストランでは、地元で醸造した日本酒を地場産業の金物のグラスに入れていた。農・商・工の連携、横のつながりがうまくできていた。北播磨でも世界に通用する山田錦と地場産業の金物の連携が地域活性化につながるのではないかと。